

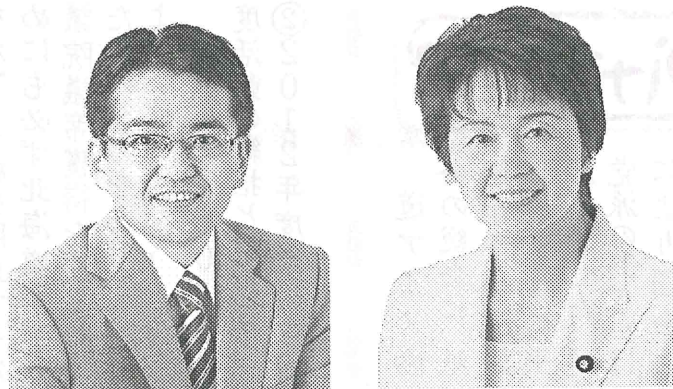
民主むろらん

日本共産党
室蘭地区委員会

発行責任者
毛利 敏
室蘭市東町4-7-8
電話(44)5573

紙智子 参議が講演

5・27演説会にぜひご参加ください



27日演説会では、紙智子参議員、畠山和也比例候補を弁士に開かれます。応援弁士に、佐藤富士夫(室蘭勤医協所長・元全道後援会代表委員)先生が参加します。

この演説会には、多くの団体への案内をはじめ、全市民に参加の案内を強めています。「紙さんが来るんだってね。楽しみにしている」「畠山さんの話、歯切れよくわかりやすいよね」「ぜひ参加したい」と期待も広がっています。

演説会では消費税増税10%、TPP参加、原発再稼働など国民の安全、くらしにかかわる重要問題について「アメリカがいいなり、財界中心の政治」という二つの害悪から抜け出す以外にないことを解りやすくお話しします。ぜひご期待ください



朽ちた二セ看板の修復

倉田 新

日本共産党室蘭地区議員団(立野広志洞爺湖町議、吉野英雄伊達市議、渡辺勉、佐々木久美子登別市議、常盤井茂樹、田村農夫成



今回の市民会館大ホール。27日(日)午後2時より市民会館大ホールです。臨時バスも出ます。バス時刻・バス停など「ちらし」などで確認され、どうぞご利用下さい。

汚染されたガレキ受け入れするな
広域連合長に党議員団が申入れ

室蘭市議は二十一日、青山剛西胆振広域連合長に対し、放射能に汚染されたガレキは受け入れるべきでないとの立場から、「東日本大震災被災地の震災がれき広域処理に関する申し入れ」をおこないました。

連合長は不在で、木村事務局長が申し入れ書を受け取りましたが、参加議員はそれぞれ地域から出されている地域住民の「放射線被害や風評被害が心配だ」「説明してほしい」とい

かく後世に禍根を残さないでほしい」など、具体的な声を伝えました。復興支援としてのガレキ処理も必要ではあるが、広域連合が焼却しようとする事について、地域住民には相談も無く、まったく知らされてない。

ガレキの放射能汚染問題や安全対策の問題、ガレキ焼却先行焼却炉の故障問題なども紹介し、莫大な税金の使い方としてどうかという問題を指摘するとともに、復興支援と見合った被災地に喜ばれる支援の形もあるはずとして、拙速な結論は避けるよう要請しました。

木村事務局長は、「連合

日本と北海道の暮らしと経済の現状と展望を語りあう北海道経済懇談会

志位和夫委員長が懇談します

日時 2012年6月9日(土) 13:30~

会場 ニューオータニイン札幌 中央区北2条西1丁目1-1

主催 日本共産党北海道委員会

サラ金被害をなくす希望の会

〇毎週 水・金 午後6時30分~

「なくす会」事務所
・室蘭市東町2丁目-35

連絡先: 47-0795

仕事・くらしの悩み お気軽に相談を

日本共産党 TEL 43-1920

2日 室蘭後援会が総会 総選挙勝利へ

室蘭後援会総会が6月2日(土)午後2時より、中小企業センター1階(視聴覚室)で開催します。活動方針案では「野田内閣は、消費税10%増税の暴走、さらにTPP参加、原発再稼働などへ突き進んでいるなかで、それを阻止するためにも必ず北海道から衆議院議席獲得をかちとるために全力をあげよう」とよびかけています。

議題は、①2011年度活動の総括と財政報告、②2012年度活動方針

及び予算について、③役員選出—となつています。また討論では、この間の各単位後援会の活動についての交流もおこないます。今回の総会は、解散・総

選挙が取りざたされている中で、総選挙での躍進をめざし、後援会が一体となつて運動を強めていくための決起の集会となります。

27日 国民平和大行進 核兵器のない世界へ皆で歩こう

2012年原水爆禁止国民平和大行進全国縦断コースが25日、白老から登別に引き継がれ、いよいよ27日に室蘭入りします。

今年の平和大行進は、核兵器の全面禁止とともに、大震災の被災者支援、自然エネルギーへの転換を合言葉に、全国を行進し、8

月の広島・長崎の原水爆禁止世界大会をめざします。室蘭原水協では、「核兵器のない世界へ一人でも多くの方が一緒に歩きましょう」と呼びかけています。今年の通し行進者は米山幸子さんです。

初のアスベスト被害相談会 4人が相談に

「アスベスト(石綿)被害相談会」が同実行委員会の主催で、19日市民会館で開かれました。「被害相談会」は、今年は今道8か所、室蘭は初の開催です。相談

室蘭行動は、とき/5月27日(午前10時20分) ところ/中島町小公園 平和行進終了後に中島アイランドで署名活動を行い交流会を計画しています。

かけあひ記

道アイヌ協会の総会に、紙智子参議院議員の代理で出席しました。超党派の働きかけにより国会決議が、政



日本共産党准中央委員・道政策委員長 山本 和也

じつと蓄えていた力

五月二十一日

と全千島返還の大義を掲げていることも知っていただいています。返還運動は次の世代への継承も課題になっていて、私が領土問題を訴えていく意義は大

も八重桜も、じつと冬の間蓄えていた力を出し切るかのよう、美しく咲き誇っています。ふと時間を忘れる瞬間です。 乙部町で訪れた農家で

は、ハウス栽培しているトマトを見せてもらいました。丸々と青々しく、これからの収穫を待っているかのようです。「野菜の育つ姿を見るのは、やっぱり嬉しいね」。話してくれる男性の顔がほころびました。何かを突らせるには知識も情熱も必要という点では、政治も同じだと思えました。

しかし、野田首相のような庶民増税への情熱はご勘弁。負けないぐらいの勢いで、また全道を回ります。



員は医師、弁護士、病院事務員、労組役員の人たちで、北九州から社会医学研究所所長の田村昭彦氏も参加しました。日鋼室蘭が全道一多い18人のアスベスト労災認定者が出ています。これが室蘭開催の根拠となりました。

被害相談会に訪れたのは4人。相談内容は「中皮腫診断を受けて11年経つが、正確な診断と補償制度を知りたい」「二週間前に病院で母が中皮腫と診断され、どうしたらいいか」「職

場で中皮腫の被害者が出ていた。補償制度がどうなっているのか知りたいなど、いずれも中皮腫にかかわる相談でした。また新日鉄を退職した方が「いまは、症状は特にないが、これからどういう症状が出てくるのか聞きたい」との質問もされました。 今回の取り組みの中で、実行委員会に参加した日鋼労働者は、「複雑な構造物の溶接のため、アスベストまみれの作業だった」「日鋼は比較的早くからアスベスト規制が始まり、有害性を知らされていない労働者からなぜ禁止にするんだ」と質問が出たほどだ。「新日鉄の対応の遅れは、理解できない」と話していました。

室蘭革新懇 講演と'12総会
3・11後の憲法状況
 ~橋下徹・「大阪維新の会」の動きと関連して~

日時 5月26日(土)
 会場 ミンクール2階大研修室A
 日程 第1部 講演「児玉健次氏」13:30~14:50
 第2部 室蘭革新懇'12総会 15:00~15:40
 主催 室蘭革新懇話会(連絡先・片岡44-0824)